

■問題 A 解答■

1. ② gets 2. ① rains 3. ② have finished 4. ③ have climbed
 5. ③ have been quarreling 6. ③ had left 7. ② have climbed
 8. ③ lay 9. ③ discuss 10. ③ occurred

■発展解説■

1. 現在の習慣は「現在形」で表す。現在完了形で He has got up at six in the morning. は「朝6時に起きてしまった。」の意で, usually (普通は) と合わないことになる。
 2. 時や条件を表す副詞節の中では, 未来の事柄でも現在形を用いる。時を表す接続詞には, when, after, before, till, until, by the time などがあり, 条件を表す接続詞には, if, unless (もし～しないなら) などがある。
 3. 現在完了は, 「完了・結果」, 「経験」, 「継続」を表す。どの意味になるのかの判断は, その文に使われている副詞表現で決める。

○ 完了・結果 (～してしまった)

just, already, yet (疑問文で「もう」, 否定文で「まだ」の意)

I have just finished my homework.

(ちょうど宿題を終えたところです。)

Have you finished your homework yet?

(もう宿題を終えましたか。)

I haven't finished my homework yet.

(まだ宿題を終えていません。)

○ 経験 (～したことがある)

ever, never, ~ times (～回)

Have you ever been to France?

(フランスへ行ったことがありますか。)

○ 継続 (ずっと～してきた)

since (～以来), for (～の間)

We have been good friends since we were little.

(私たちは小さい時からずっと仲良しです。)

4. three times (3回) と経験を表しているので, 現在完了形を用いる。
 5. for thirty minutes の表現があるので, 継続用法 (ずっと～してきた) になる。
 6. when I got to the station (私が駅に着いた) という「過去」より以前に列車が出ていたので, 過去完了になる。

過去完了は, 「過去」までの, 「完了」, 「経験」, 「継続」を表す。現在完了が「現在」を起点にして, 「完了」, 「経験」, 「継続」を表すのと同様である。

7. if I climb the mountain this time (こんどその山に登ったら) と未来の時を起点にして, その時のことを表すのは「未来完了」である。未来完了にも, 「完了」, 「経験」, 「継続」の用法がある。

8. 自動詞 lie と他動詞 lay の活用に注意。

lie (横たわる) - lay - lain

lay (横にする, 置く) - laid - laid

なお, lie には「うそをつく」という意味もあり, この場合は規則動詞 (lied - lied) である。

9. 自動詞と間違いやすい他動詞がある。以下はすべて他動詞である。

discuss (～について議論する), reach (～に到着する), marry (～と結婚する), resemble (～と似ている), mention (～について述べる)

10. 「母音 + r」で終わる語で, この音節にアクセントがあれば, 活用するときには r を重ねる。

[例] préfér → preferred, preferring

しかし, 「母音 + r」にアクセントがない語では, r を重ねない。

[例] offer → offered, offering

■問題 B 解答■

1. a) 2. a) 3. b) 4. a) 5. b)

■発展解説■

1. just now (つい今しがた) は原則として過去形と用いる。

just now を「ちょうど今」の意で用いれば, 現在形でも言える。

[例] I can't see anyone just now. (今は誰にも会えません。)

2. 「動作」を表す動詞は進行形にできるが, 「継続性」をもつ動詞は進行形にできない。

進行形にできない動詞は以下のように分類できる。

(1) 継続的な状態

be, have, belong (～に所属している), resemble (～に似ている)

(2) 心理状態

know, love, like, remember, understand

3. 「～へ行ったことがある」は **have been to** ～。have gone to ～は「～へ行ってしまった」の意。なお、have been to ～は「～へ行ったことがある」のほか、「～へ行ってきたところだ」の意味にもなる。

[例] I *have been to* the barber's.

(私は床屋へ行ってきたところです。)

4. 「時計をなくした」という「過去」よりも以前に「時計を買った」のだから、「時計を買った」部分は「過去完了」になる。
5. 時や条件の副詞節の中では、未来を表す will を用いない。したがって、when I will have finished と未来完了を用いることはできなくて、when I have finished と表現する。

■問題 C 解答■

1. [yet] 2. [since] 3. [about]

■発展解説■

1. **yet** は「疑問文」で「もう」、「否定文」で「まだ」の意。**already** は「肯定文」で「もう」の意。
2. **since** は「～以来、～してから」の意で、完了形と用いる。
3. **be about to** ～「まさに～せんとしている」は **be going to** より差し迫った未来のことに用いる。

第 2 日 (p. 5)

■問題 A 解答■

1. ① for 2. ② of 3. ① not to 4. ② to talk with
5. ② tell 6. ③ him